

平成29年度進行管理・評価シート
竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 建物修景補助事業	3
2 旧竹屋書店保存修理事業	4
3 吉川家住宅保存修理事業	5
4 史跡岡城跡保存整備事業	6
5 西光寺境内保存修理事業	7
6 電線類無電柱化事業	8
6 道路美装化事業	9
7 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	10
8 歴史資料館等公開活用整備事業	11
9 城下町回遊館整備事業	12
10 竹田荘公園等整備事業	13
11 風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)	14
12 駐車場整備事業	15
13 城下町路地裏整備事業	16
14 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	17
15 城下町空き家・空き店舗再生促進事業	18
16 城下町案内ガイド養成事業	19
17 城下町・岡城跡歴史学習事業	20
18 城下町案内マップ等制作事業	21
19 城下町移住定住支援事業	22
20 城下町・岡城跡回遊促進事業	23
21 民俗芸能等支援事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理に関する事項	25
2 文化財の保存又は活用に関する事項	26
3 文化財の周辺環境の保全に関する事項	27
4 文化財の防災に関する事項	28
5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 城下町の歴史文化居亭施設の整備について	30
2 城下町の空き家・空き店舗の活用について	31
3 文化財等の学習・情報発信について	32
4 文化財の防災について	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 計画認定による観光客数の推移について	34
□法定協議会等におけるコメント(様式4)	35

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1 組織体制		
項目		評価対象年度 29年度
計画推進体制		現在の状況 ☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課・総合まちづくりセンター、文化財保護部局の文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度に事務局体制の変更を行ったが、平成29年度は事務局体制に変更はなかった。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	事務局体制のスリム化により、意思決定が行いやすくなり、連携が強化された。	
状況を示す写真や資料等		
事務局体制 【平成25～27年度】 ●教育委員会部局 ①文化財課 ●総務企画部局 ②企画情報課 総合まちづくりセンター(室) ●産業建設部局 ③建設課都市計画係 【平成28年度～】 ○教育委員会部局 ①文化財課 ○産業建設部局 ②都市デザイン課 ・中心市街地活性化基本計画 ・都市再生整備計画事業 ・街なみ環境整備事業 ・PFI定住促進住宅 ・景観計画 ・都市計画(MP・決定変更)etc		

竹田市-1

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	29年度	
		現在の状況		
景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手		
計画に記載している内容	本市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点である。山城であった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。			
	平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つ町となった。			
	しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。			
	このような背景のもと、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、平成27年度に竹田市景観計画を策定した。竹田市景観計画は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくり及び歴史的風致に配慮したまちづくりを進めるための計画である。			
個性ある自然景観、歴史・文化の景観、くらしの景観が市全域に広がっていることから、市全域を景観計画区域とし景観形成を行う。また、岡城、城下町、それらの周辺地域は、史跡等環境保存条例により、これまで歴史的文化遺産の保存が重点的に取り組まれてきており、竹田市歴史的風致維持向上計画においても重点区域としている。このため、本計画においても「景観形成重点地区(地区名は城下町地区とする)」として位置づけ、より詳細な景観誘導を図る。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
竹田市景観審議会を2回開催した。				
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				
 第5回竹田市景観審議会の様子(H30.3.7)				
平成29年度中に開催した竹田市景観審議会の内容		平成29年度竹田市景観計画届出		
	開催日	主な議題	行為の種類	件数
第4回	H29.4.26	景観形成重点地区(城下町地区)内における公共施設の建設予定について	建築物の建築等	21
			工作物の新設等	22
第5回	H30.3.7	景観重要建造物保全事業補助金交付要綱の制定について	開発行為	3
			土地の形質変更等	10
			木竹の伐採	6
			物件の堆積等	0

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
建物修景補助事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成13年度～平成30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)	
計画に記載している内容	竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400 年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成25年に城下町である中心市街地内に計画された東西南北に縦横断する都市計画道路を廃止し、400年続く町割り、景観、風致を活かした、まちづくりを強化した。近年では、旧都市計画道路沿線の地区から「まちづくり協定」が締結され、建物修景事業の要望・着手が行われるようになってい		
平成29年度建物修景事業:8件実施		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も計画に沿った事業推進を図っていく。
状況を示す写真や資料等		
建物修景事業(東本町) 修景前  修景後 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
旧竹屋書店保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財:佐藤家住宅)の店舗兼主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場産品の販売や休憩施設として活用を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
建物の所有者との保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		建物の老朽化が進展しているため、平成31年度の修理着手に向けて、早急に所有者との調整をつける必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 旧竹屋書店現況		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
吉川家住宅保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成21年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・補修工事(単独)	
計画に記載している内容	大正11年に建造された吉川家住宅(登録有形文化財)の主屋・土蔵・倉庫について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、観光案内や休憩施設として活用を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
保存修理の完了している倉庫一で現在染物屋の工房として活用し、公開活用を実施している。近年では、まち歩きのポイントの一つとして定着、来訪者が増加している。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		主屋及び倉庫一については、整備は完了しているが、歴史的風致の維持向上を図るため、倉庫二・三の活用方針を決定し早急な保存修理が必要である。
状況を示す写真や資料等		
 吉川家住宅倉庫一活用状況		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
史跡岡城跡保存整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和63年度～平成35年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	
計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年台風被害(西中仕切石垣下・本丸東側石垣下)及び平成28年熊本地震被害(下原門西櫓)の災害復旧事業を実施した。また、修復現場を公開し、震災復興のシンボルとして説明会を実施した。 岡城跡の入場者数は平成28年の震災により前年比約2万人の減となっていたが、平成29年度は約6千人増となり、回復傾向にある。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		平成29年度に工事着手できなかった、熊本地震による石垣等の被災箇所(本丸北東隅石垣・下原門東櫓)の早急な復旧を行い、来訪者の安全性の確保を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 下原門西櫓災害復旧工事施工前  下原門西櫓災害復旧工事施工後		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
西光寺境内保存修理事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	大分県文化財保存事業費補助金・竹田市文化財保存事業費補助金	
計画に記載している内容	岡藩主中川家とかかわりの深い西光寺は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための御成門及び本堂の保存修理を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
腐食や破損があった西光寺本堂縁廻り及び建具等の保存修理(平成30年度まで継続)、修復現場の公開(現場説明会)を実施した。今後は、他の施設と連携した公開活用を展開していく。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		平成30年度中に、本堂保存修理を完了させる。
状況を示す写真や資料等		
 保存修理状況(本堂切目縁解体状況)  保存修理状況(復旧状況)		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
道路美装化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成13年度～平成30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26)、社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27)	
計画に記載している内容	竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラー舗装工事を実施する。 竹田城下町は、多数の指定文化財等が集積するなど多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美装化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度・30年度(計画)の道路美装化箇所は、平成29年5月にオープンした新市立図書館周辺道路(向丁線・代官町線)の美装化を実施しており、文化の拠点施設と周辺景観づくりにより、相乗的な効果が発揮されるよう配慮している。		
道路美装化事業:平成29年度実施2箇所 市道向丁線(L=84.4m) 市道代官町線(L=77.3m)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	今後も計画に沿った事業実施を行う予定である。	
状況を示す写真や資料等		
道路美装化 美装化前(向丁線)  美装化後(向丁線) 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
電線類無電柱化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	市道本町通線及び駅前線では、歩行に支障をきたしている電線類等無電柱化し、歩行空間と景観形成を行い、歩いて楽しい道路を整備する。また、メインストリートとして、再整備し、城下町の拠点の一つである中心市街地の賑わいを取り戻すため、測量設計・舗装整備・電線類無電柱化工事・歩道整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度は本町通電線共同溝(約400m)の工事を施工した。また、電線共同溝設置後の道路美装化について、沿線住民と意見交換を進めつつ、無電柱化事業完了後の通りの使い方など、景観を活用したまつづくりについて気運の醸成を図っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		平成30年度、駅前電線共同溝(約400m)の工事を実施する。
状況を示す写真や資料等		
【現況】  【無電柱化】  無電柱化予想図		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	街路灯・案内看板・道路標識等を統一した色合いやデザインにすることにより、城下町の景観形成の向上を図るため、街路灯等基本計画・街路灯等撤去・設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
電線類無電柱化区間の観光案内板や道路標識、街路灯整備などの調整は、必須事項であり、道路管理者や警察署、地元商店街など関係機関と景観に係る統一的な連携協議を進めている。平成29年度は実施設計業務を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		無電柱化事業の進捗とあわせて、事業を推進する。	
状況を示す写真や資料等			
 街路灯整備予定箇所(下本町)			

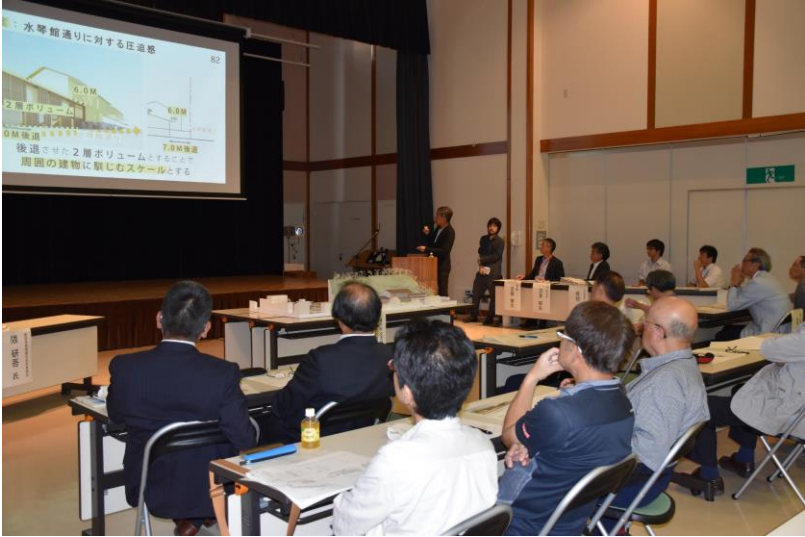
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
歴史資料館等公開活用整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史資料館で保管、保有する貴重な資料の整理を行い、図書館と併せて歴史的文化的遺産の集約的な分類整理を行い、未整理資料の調査研究を効率的に行うとともに、公開活用を図っていく。またその一環として、文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられている竹田市立歴史資料館(昭和55年建設)及び竹田市立図書館(昭和35 年建設)の再整備を行う。また、岡城跡や城下町に関する総合的な情報提供を行うガイダンス機能を備えた文化観光拠点施設としても整備を実施し、主要観光施設である岡城跡と城下町をつなぎ、岡城跡を訪れる来訪者を城下町へ誘う役割を担う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新竹田市立図書館(平成29年5月21日開館)の竣工。歴史文化交流センター(歴史資料館・岡城ガイダンスセンター)の基本設計・実施設計を行った(H30年起工、H32年開館予定)。また、本市の文化行政の拠点となる竹田総合文化ホールの建設(H30年完成)も進んでいる。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		本市の文化行政の拠点施設となる新市立図書館、歴史文化交流センター、竹田総合文ホールについて、密接に関係する3施設の連携した運営が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
  H29.5.21に開館した新市立図書館  岡城跡・竹田城下町歴史文化交流センター(歴史資料館・岡城ガイダンスセンター)完成予想図   城下町歴史文化交流センター基本設計説明会の様子 建設が進む竹田総合文化ホール			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町回遊館整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)・発掘調査(単独)	
計画に記載している内容	城下町の中心部に位置した場所に、城下町を訪れる来訪者の為の案内施設及び地域住民の文化拠点施設とし、誰もが気軽に訪れ交流を深めることができ、中心市街地の賑わいを創出できるような施設整備を行う。整備については、公有財産購入・発掘調査・地積調査・基本及び実施設計・本体工事及び来訪者用駐車場を用地取得・区画線工事・車止めなどを整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
城下町交流プラザ(H30.3.6名称決定)の基本設計及び実施設計業務を平成28年度から実施している。市民フォーラムや基本設計説明会を開催し、設計コンセプトの説明や意見聴取を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		平成30年度に工事施工、平成31年度オープン予定。
状況を示す写真や資料等		
 城下町交流プラザ完成予想図   城下町拠点交流施設を語る市民フォーラムの様子		

竹田市-12

評価軸③-1

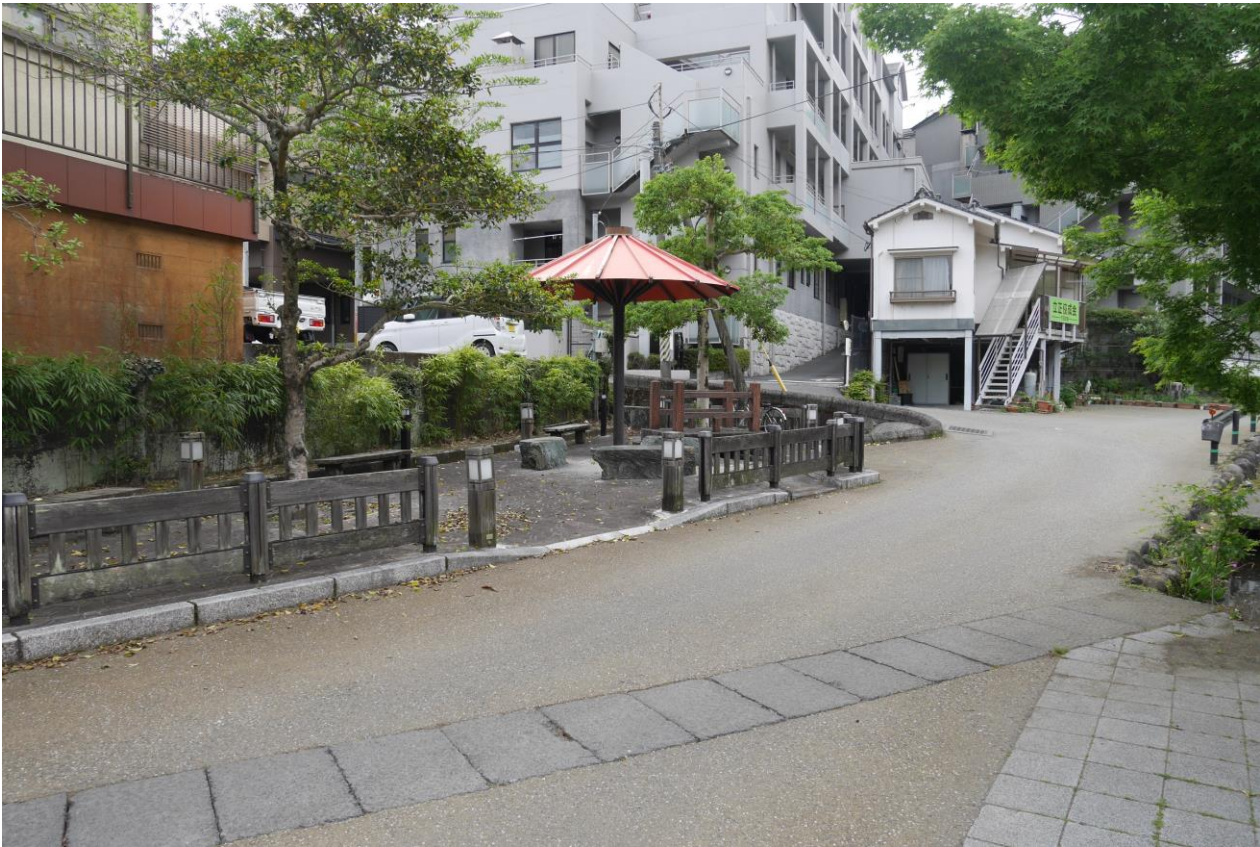
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
竹田荘公園等整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	地域住民・来訪者にとって憩いの場である竹田荘公園(昭和62 年整備)及び稲葉川やすらぎ公園(平成14 年整備)は、休憩施設及び遊具等が老朽化しており、再整備が必要となっている。基本構想・実施設計・植栽舗装工事・遊具休憩施設の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
建設中の竹田市総合文化ホールに隣接する、都市公園(竹の子ひろば)の建設(H30年完成予定)を実施した。市の文化芸術の拠点となる竹田総合文化ホールとの連動・連携した相乗効果を狙いとするとともに、城下町との接続点の役割効果が期待される。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		各公園の位置づけを整理する必要がある。 竹田荘公園は、歴史資料館再整備との調整が必要である。
状況を示す写真や資料等		
 建設中の「竹の子ひろば」		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	歩いて楽しい城下町を目指し、空き家や空き地を活用し、子どもたちが安心安全に遊べ、地域住民・来訪者が憩えるポケットパークを整備するため、植栽・舗装工・遊具・休憩施設の設置を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
事業推進は行っており、対象となる空き地等を検討中。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		ポケットパークの設置場所は、城下町回遊の主要ルート上(空き地があっても、通行の少ない場所では事業効果が少ない)での設置が望ましいことから、設置場所の設定にあたっては、住民及び関係機関と協議を行い決定することに加え、駐車場整備との連動する必要がある。
状況を示す写真や資料等		



既存のポケットパーク(慶順町)



既存のポケットパーク(寺町:瀧廉太郎記念館前)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
駐車場整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	来訪者のために、城下町における駐車場配置計画及び実施設計・駐車場整備工事を行い、城下町の快適性・景観形成に配慮し、地域住民・来訪者等の満足度の向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
中心市街地の駐車場の現状と今後の方向性について、庁内会議を実施しており、城下町における効率、効果的な車輛の誘導について検討中である。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		駐車場設置について、限られた空き地を効率よく使用するために、ポケットパーク設置等の他の事業推進と連携し計画する必要がある。また、新規整備駐車場(図書館・歴史資料館等)との連動も必要である。
状況を示す写真や資料等		
参考資料		
		
既存の駐車場(ふれあい駐車場)		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町路地裏整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
対象となる裏路地候補地について事業実施の検討を行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		回遊性を重視した整備の実施及び個人所有の敷地等を利用するため、十分な住民との意見調整を実施する必要がある。
状況を示す写真や資料等		
		
裏路地整備の例		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
城下町老朽危険空き家等除却促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は2件(重点区域内1件)の老朽危険家屋除去を実施、安全な景観保全とするとともに、城下町の景観風致の向上を図ることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も、必要に応じ実施していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
実施場所: 下本町 撤去前  撤去後 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町空き家・空き店舗再生促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～30年度	
支援事業名	単独事業	
計画に記載している内容	空き家や空き店舗の有効活用をとおして、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図ることを目的に、再生に必要な改修等に対し補助金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
城下町の空き家を活用し、新たな店舗や観光施設を開店した。創業に際し、補助金や寄付金の助成を行い、城下町本来の商業機能の振興と賑わいづくりを図ることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		持続的な運営とまちの賑わい創出に向けた連携を図る必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 空き店舗柄を利用し雑貨屋などを起業(チャレンジショップ)  空き店舗を利用し飲食店を開業 (「竹田市起業家育成支援事業補助金」活用)  空き店舗を利用し開館した「竹田キリシタン資料館」 (竹田市補助金、寄付金(一部クラウドファンディング)を活用) 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町案内ガイド養成事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～35年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	観光ボランティアガイド・岡城こどもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
岡城たのしみ隊及び岡城武者揃等の団体の活動に対し支援を行った。岡城子どもガイドの育成(4名、ガイド実習年6回・ガイド研修年2回)を実施した。こうした取り組みにより、市民参加を図るとともに、岡城跡や城下町への来訪者増加に寄与できている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		児童数の減少により、岡城こどもガイド希望者の減少が懸念されることから、募集内容の見直しが必要(学校現場との連携)。
状況を示す写真や資料等		
 岡城子どもガイド研修の様子  観光客へ説明を行う岡城子どもガイド		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町・岡城跡歴史学習事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～35年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に収蔵される古文書の読み下しを行う古文書解読講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会（由学館セミナー等）を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
主な開催した講演会・講座事業 南画の里『竹田市』×日本南画院共催セミナー 日本南画院『田能村竹田と南画の魅力を語る』(H29.11.19 参加者集約60名) シンポジウム『豊後キリシタンの展開と岡藩一史料から読み解くー』(H29.9.3 参加者数約100名) 岡城跡下原門跡石垣修復現場説明会(H30.3.4 参加者数約70名)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も市民を対象とした、各種講演会や講座を計画的・継続的に開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



『豊後キリシタンの展開と岡藩一史料から読み解くー』の様

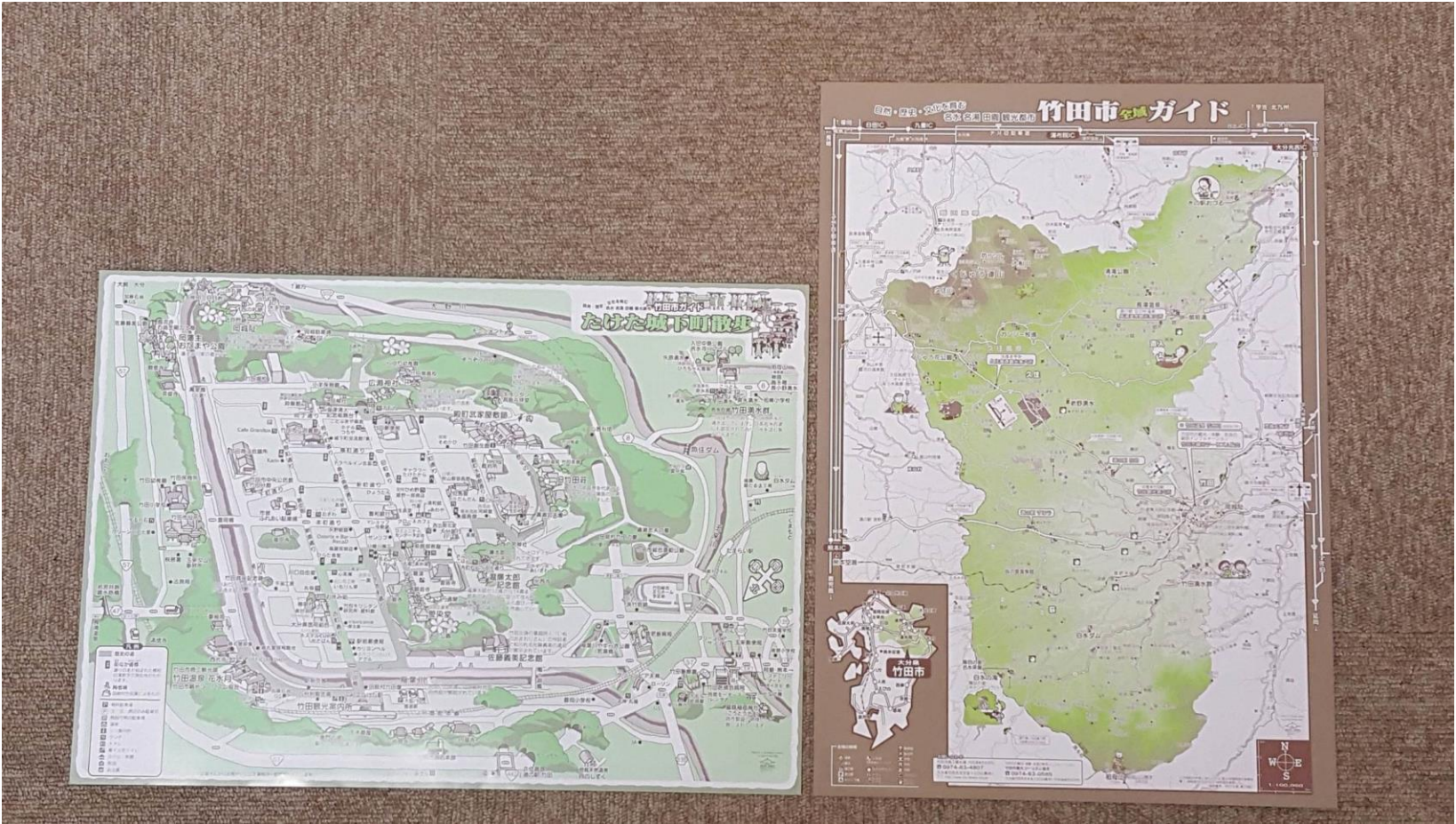


岡城跡下原門跡石垣修復現場説明会の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
			現在の状況
城下町案内マップ等制作事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～35年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町を訪れる観光客に対し、案内マップや各種パンフレットを配布し情報提供を行うことにより、効率よく城下町の散策が効能となり、回遊性の向上につながった。平成29年度は、既存の案内マップ等の内容充実及び増刷等を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		中九州自動車道竹田IC開通(平成31年開通予定)に対応した案内マップの作成が必要である。また、来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップ等の作成を実施する。	
状況を示す写真や資料等			



竹田市の観光案内マップ

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
城下町移住定住支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東京吉祥寺にギャラリースペースをかまえる「くるみギャラリー」にて、長年展示を行っている元・竹田市地域おこし協力隊の甲斐哲也氏とくるみギャラリーオーナーの寺口氏が中心となって開催した「アートキャンプ2017-Kurumi annex」。東京で活動中の造形作家や演奏家17名が竹田市を訪れ、竹田城下町内で展示やワークショップ、演奏会を行った。そのメンバーの一人で画家の榎島藍さんが約10日間竹田市に滞在し、竹田市からインスピレーションを受けた絵画を制作。制作場所として市内の民間スペース等を活用し、一般の来場者も常に訪問が可能な状況の中、作品の背景・素材となった竹田市の自然や市民からの情報などを来訪者に伝えた。制作された作品は、竹田城下町内のスペース「真抄洞」にて公開展示された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		アートレジデンスを通じて、若手の作家・芸術家が活動拠点として竹田市への定着を図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 市内に滞在し作品を創作する様子(市内十川にて)  完成した作品を展示している様子(真抄洞にて)			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
城下町・岡城跡回遊促進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～35年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
急峻な地形に築城された岡城跡は、その立地から体の不自由な人や高齢者にとっては登城が難しい状況にあったことから、「岡城登城バス」の運行を行った。また、買い物や医療機関等への外出が困難な高齢者等の交通手段を確保し、中心市街地と周辺部を結ぶ「竹田市予約型乗合タクシー『カモシカ号』」の運行により。城下町と周辺農村部との回遊性の向上及び賑わいの創出につながった。 平成29年度登城バス利用実績 延べ 4,295名(H30.3末) 平成29年度レンタル自転車利用実績 400台(H30.3末)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		登城バス利用者から利用に関するアンケート調査を実施している。今後もアンケート調査を継続して実施し、利用者の意見収集を図る必要がある。また、城下町から岡城跡へのルート構築を早急に行う必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 予約型乗合タクシー「カモシカ号」の運行		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		29年度
項目		現在の状況
民俗芸能等支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成15年度～35年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
次代の担い手の育成の為、子供神楽等の団体への助成(平成29年度 3団体)を実施し、伝統芸能継承意識・意欲の向上が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		平成25年度までに市内51団体ある民俗芸能保存団体のうち41団体の記録映像撮影が文化庁の補助事業等を活用し完了しているが、残りの団体の記録映像撮影を早急に行うことに加え、伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 子ども神楽の活動の様子(荻町子ども神楽クラブ)		

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 29年度
		現在の状況
文化財の修理に関する事項		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
史跡岡城跡災害復旧事業を実施した。(P5に記載) 西光寺境内保存修理工事を実施した(P7に記載)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	岡城跡の地震被災箇所の復旧工事を早急に必要ながある。	
状況を示す写真や資料等		
		
岡城跡下原門西櫓災害復旧工事の様子		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
文化財の保存又は活用に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
建物修景補助事業（P3に記載）吉川家住宅保存修理事業（P5に記載）史跡岡城跡保存整備事業（P6に記載）歴史資料館等公開活用事業（P11記載）城下町・岡城跡回遊促進事業（P23記載）			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		再整備を行う歴史資料館に、岡城跡のガイダンス機能持たせることから、城下町から岡城跡へのアクセス整備が必要。	
状況を示す写真や資料等			
 岡城跡二の丸休憩所			
 岡城登城バス運行状況			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	竹田市史跡等環境保存条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路美装化事業(P9に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P17に記載) 城下町空き家・空き店舗再生促進事業(P18に記載)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		電線類無電柱化に合わせて、案内板・標識・街路灯についても整備を実施する必要がある。	

状況を示す写真や資料等

美装化の例



市道代官町線

空き店舗活用の例



竹田キリシタン資料館

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 29年度
文化財の防災に関する事項		現在の状況 ☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るように努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
地元自治会・消防本部・消防団と共同で、文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を実施した。 平成29年度:平成30年1月21日 願成院本堂(重要文化財)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 願成院本堂での防火訓練の様子		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	29年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	、市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町ガイド養成事業(P19に記載) 城下町・岡城跡歴史学習事業(P20に記載) 城下町案内マップ等制作事業(P21に記載)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 研修を終え、ガイド認定書を渡された岡城子どもガイド			
 西光寺保存修理現場説明会の様子			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
	2017.5.22	大分合同新聞	
	2017.6.27	大分合同新聞	
	2017.7.31	西日本新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史・文化・情報・生涯学習の拠点施設を城下町再生の中核施設として再整備を実施する。市立図書館(平成29年5月オープン)、歴史文化交流センター・城下町プラザ(平成29年設計、平成30年工事着手)、竹田総合文化ホール(平成30年オープン)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐計画の進捗に影響あり ☒計画の進捗に影響なし	城下町再生の拠点施設の整備について、報道関係への周知を実施する。

状況を示す写真や資料等

大分合同新聞(2017.5.22)

竹田市立図書館会館に関する記事

大分合同新聞(2017.6.27)

城下町交流拠点施設に関するフォーラム開催に関する記事

西日本新聞(2017.7.31)

竹田市総合文化ホール建設に関する記事

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
	2017.10.21	大分合同新聞	
	2017.10.31	大分合同新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町の古町地区に「竹田キリシタン資料館」や「チャレンジショップ」がオープンした。いずれも、空き店舗を活用したもので、城下町の賑わい創出を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐計画の進捗に影響あり ☒計画の進捗に影響なし	今後も空き家、空き店舗の活用を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

大分合同新聞(2017.10.21)

空き店舗を利用した「竹田キリシタン資料館」開館に関する記事

大分合同新聞(2017.10.31)

空き店舗を利用したチャレンジショップオープンに関する記事

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
	2017.10.1	大分合同新聞	
	2017.10.3	大分合同新聞	
	2018.3.5	大分合同新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化の啓発の一環として、講演会や説明会、ガイド養成講座を開催し郷土学習の機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐計画の進捗に影響あり ☒計画の進捗に影響なし	歴史文化を対象とした講演会や文化財の現地説明会を、今後も継続的に開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

大分合同新聞(2017.10.1)

シンポジウム「豊後キリシタンの展開と岡藩」の開催に関する記事

大分合同新聞(2017.10.3)

岡城子どもガイド5期生認定に関する記事

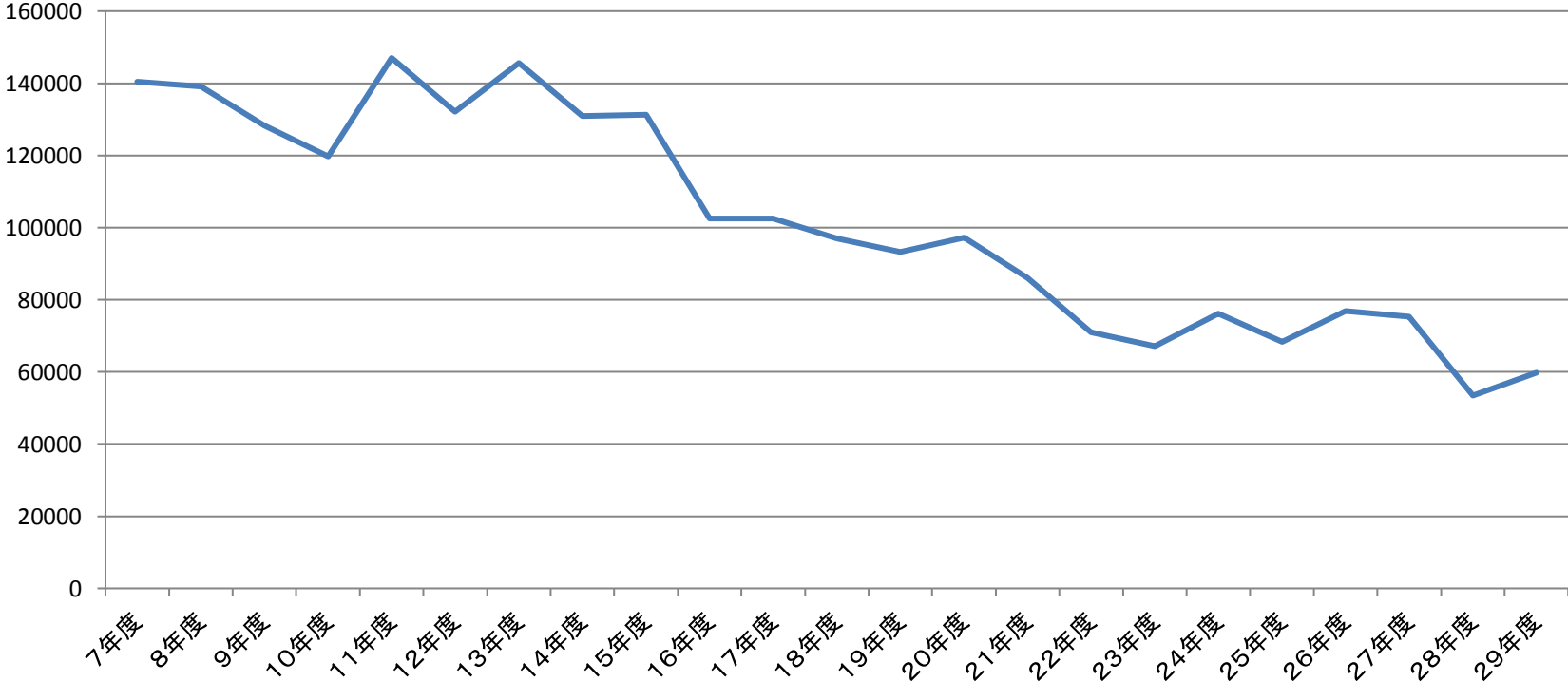
大分合同新聞(2018.3.5)

岡城跡災害復旧工事見学会に関する記事

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
		2018.1.22	大分合同新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
自治会や消防と連携し、文化財防火訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		今後も、地域住民や警察・消防と連携し文化財の防犯・防火に努める必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
大分合同新聞(2018.1.22) 文化財防火デーに関する記事			

評価軸⑥-1 その他(効果等)																																																	
評価対象年度29年度																																																	
項目																																																	
計画認定による観光客数の推移について																																																	
計画に記載している内容	来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。																																																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																																	
竹田市の代表的な観光施設でもある史跡岡城跡への来訪者数は、計画が認定された平成平成26年度に以降増加傾向にあったが、平成28年度は、4月に発生した熊本・大分地震、その後続いた余震の影響により、年度前半は大幅な観光客数の減少となった。秋以降、観光客数の持ち直しが見られたが、幹線道路である国道57号線の被災により、今なお迂回路による通行となっている。そのため、観光客数は増加傾向にはあるが、平成27年度水準には届いていない。																																																	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	地震被災箇所の早期の復旧及び魅力ある観光政策の推進により、竹田市への来訪者数の増加を図る必要がある。また、ボランティアガイド・岡城楽しみ隊・岡城武者揃え実行員会等へ助成及び学習会等の開催を実施し、来訪者への案内を充実させる活動を引き続き実施する必要がある。																																																
状況を示す写真や資料等																																																	
 岡城跡でのイベント(岡城桜まつり)																																																	
史跡岡城跡年間入城者数  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>入城者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>7年度</td><td>140000</td></tr><tr><td>8年度</td><td>138000</td></tr><tr><td>9年度</td><td>128000</td></tr><tr><td>10年度</td><td>120000</td></tr><tr><td>11年度</td><td>145000</td></tr><tr><td>12年度</td><td>132000</td></tr><tr><td>13年度</td><td>145000</td></tr><tr><td>14年度</td><td>130000</td></tr><tr><td>15年度</td><td>130000</td></tr><tr><td>16年度</td><td>102000</td></tr><tr><td>17年度</td><td>102000</td></tr><tr><td>18年度</td><td>100000</td></tr><tr><td>19年度</td><td>95000</td></tr><tr><td>20年度</td><td>98000</td></tr><tr><td>21年度</td><td>88000</td></tr><tr><td>22年度</td><td>72000</td></tr><tr><td>23年度</td><td>68000</td></tr><tr><td>24年度</td><td>78000</td></tr><tr><td>25年度</td><td>68000</td></tr><tr><td>26年度</td><td>78000</td></tr><tr><td>27年度</td><td>75000</td></tr><tr><td>28年度</td><td>55000</td></tr><tr><td>29年度</td><td>60000</td></tr></tbody></table>		年度	入城者数	7年度	140000	8年度	138000	9年度	128000	10年度	120000	11年度	145000	12年度	132000	13年度	145000	14年度	130000	15年度	130000	16年度	102000	17年度	102000	18年度	100000	19年度	95000	20年度	98000	21年度	88000	22年度	72000	23年度	68000	24年度	78000	25年度	68000	26年度	78000	27年度	75000	28年度	55000	29年度	60000
年度	入城者数																																																
7年度	140000																																																
8年度	138000																																																
9年度	128000																																																
10年度	120000																																																
11年度	145000																																																
12年度	132000																																																
13年度	145000																																																
14年度	130000																																																
15年度	130000																																																
16年度	102000																																																
17年度	102000																																																
18年度	100000																																																
19年度	95000																																																
20年度	98000																																																
21年度	88000																																																
22年度	72000																																																
23年度	68000																																																
24年度	78000																																																
25年度	68000																																																
26年度	78000																																																
27年度	75000																																																
28年度	55000																																																
29年度	60000																																																

評価対象年度	29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成30年4月26日(木)	
(コメントの概要) 竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について 委員からの主な意見 各事業についての意見 ・カラー舗装した道路の色の根拠は？城下町本来の道の色を復元してはどうか。 ・民間と共同でポケットパークを整備できないのか？ ・空き家の活用について、空き家、空き店舗の状況把握は出来ているのか。 評価についての意見 ・各事業の評価を数値化して実施する必要があるのではないか。 ・効果に関して、岡城の来訪者の推移だけでなく、他の施設やイベントへの参加人数の推移が分かれると良い。	
	
竹田市歴史的風致維持向上協議会の様子	
(今後の対応方針) ・計画進捗評価については、意見及び提案事項について検討し、今後の事業推進に活かしていく。 ・評価について数値化できるものに関しては、数値化を行っていく。	